

戦争を阻むため、今こそ 反戦・反権力の砦

三里塚闘争へ

10・10三里塚闘争の爆発から
11・7日比谷1万人結集へ！



「日本農民の名において収用を拒む」と立ち上がった三里塚農民（1971年3月5日農民放送塔＝第1次代執行）」

すべての学生のみなさん！ 時代は今、日本が戦争への道をふたたび歩むのか、それとも阻止するのか、巨大な分岐点にさしかかっている。釣魚台(日本名:尖閣列島)での衝突事件をきっかけに、国会・予算委員会では排外主義と戦争翼賛が公然と行われている。今こそ反戦闘争に立ち上がり、世の中を動かしているのは誰なのか、戦争を止める力がどこにあるかを示すときだ。これはとりわけ、未来を体現する私たち学生にとって生き方の問われる問題だ。10月10日、三里塚(成田)で軍事空港建設と闘う反対同盟が全国集会を呼びかけている。全国学生は、全力で結集しよう！

国会での侵略翼賛許さない！

国会で現在行われている、侵略翼賛のオンパレードにはもう我慢がならない。菅政権による「船長釈放」が、「中国の圧力に屈した」「弱腰外交だ」として、強硬な態度(=戦争だ!)に出るということが、公然と叫ばれている。政府も、民主党も、自民党も果ては社民党や共産党までも、「国家・国益を守れ」の大合唱だ。せいぜい、どのタイミングで軍事力を発動するかの違いでしかない。

はっきりさせよう。日清戦争で日本が「強奪」し、第二次大戦での敗北で「放棄」したのが釣魚台であり、それは中国領以外の何ものでもない。国会論戦も、マスコミも、その史実をねじ曲げ、ウソとデマで塗り固め、「どちらの方が国益のためか」を競い合っているのだ。領土問題で国家主義を煽って戦争をする、かつてと何も変わらない帝国主義の姿がそこにある。絶対に許してはならない！

侵略戦争国家化を阻止しよう！

起きている事態は徹頭徹尾、日本の資本家連中とその政府による侵略欲求の噴出だ。

大恐慌が日米欧はじめ世界経済を奈落の底に突き落としている。「二番底」にブルジョアジーどもはびくびくしている。生き残りをかけて、それぞれの国内でしわ寄せを労働

者人民に押しつけつつ、オバマは「輸出2倍化」を叫び、菅は「東アジア共同体」形成を叫ぶ。利害は当然ぶつかる。円高をめぐる為替戦争にまで事態は進んでいる。

その先は自国権益防衛のための軍事力発動だ。もう目の前に来ているのだ。米軍はこの数ヶ月間、中国沿岸で韓国やベトナムとともに軍事演習を繰り返している。菅は「日本版海兵隊」創設や南西諸島への自衛隊配備を目論んでいる。今回の釣魚台問題をめぐっては、日米外相会談において「今回の事態は日米安保の適用対象」だと確認された。そして何よりも、沖縄への新基地建設がこのなかで狙われている。このどこにも労働者・学生の利益はない！

第3誘導路粉碎！団結街道廃止許すな！
現闘本部の破壊を阻止し、市東さんの農地を守ろう！
軍事空港建設粉碎・改憲阻止！

10・10全国総決起集会

【日時】 10月10日(日)正午
【会場】 成田市東峰 反対同盟員所有畑
【主催】 三里塚芝山連合空港反対同盟

全日本学生自治会総連合
(織田陽介委員長)

TEL/FAX 050-3036-6464
mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp/



三里塚闘争には 学生の可能性が詰まっている

戦争を止め、戦争を必要とする資本主義・帝国主義を打倒するのは今だ。その力は労働者・学生の団結の中にこそある。

その無限の可能性を示してきたのが三里塚闘争だ。成田空港は欠陥空港であり、当初計画の半分もできていない。それは、44年間にわたって国策に真っ向対決し、「軍事空港粉砕、農地死守・実力闘争、一切の話し合い拒否」をスローガンに、農民・労働者・学生が力を合わせ、体を張って空港の完成を阻んできたからだ。しかも今や「羽田空港ハブ化政策」や大恐慌による航空需要の激減に追いつめられている。数万という警察権力と、数兆という建設予算や買収金といった国家の全体重をかけた攻撃も、労農学の団結はつぶせなかったのだ。この三里塚で勝利し、戦争を止めよう。



集会の最後に「火の玉となって団結街道の廃止を阻止するぞ」とシュプレヒコールを行う1530人の労農学（2010年3月28日 成田市天神峰）

キャンパスから10・10三里塚へ、 そして11・7日比谷へ

資本主義体制が学生から教育を、未来を奪い、学生を戦場に送る以外に生きられないまでに没落したのなら、私たち学生が戦争に怒りを燃やして立ち上がることは、学生に

<本日のスト!> スペインで24時間ゼネスト



9月29日スペイン全土が、02年以来8年ぶりに24時間ゼネストに突入した。赤字解消を掲げる政府の緊縮財政政策に抗議する闘いだ。首都マドリッドの街頭ではスト労働者や学生と警察が激しく激突し、ゴム弾で攻撃する警察部隊に対してバリケードが築かれ、警察車両が燃やされた。

スペインは現在失業率が20%に達しているため、これ以上の緊縮政策は、労働者の生活を完全に破壊しかねない。このため、公務員の賃下げ、年金の凍結、首切りを容易にするための労働法の改悪などを含む緊縮政策をゴリ押ししようとする社会党政権に対する、激しい怒りが爆発している。ヨーロッパの労働者階級の怒りと我々の怒りは一つだ!

とって歴史的使命ではないか! それを実現するチャンスが今だ!

「闘えば必ず勝てる」 三里塚闘争は訴えている。全国から労働者・学生が集まり、農民の闘魂が国家権力を圧倒し続けてきた。日本の学生は現実とかけ離れた授業ではなく三里塚闘争でこそ真実をつかみ取ってきた。反戦闘争は、学生の本来持つ力と可能性を取り戻し、団結を回復する闘いだ。無限の可能性を持つ学生に、ピラすらまかせず、処分と逮捕を繰り返す法大をはじめとした大学のあり方への回答こそ三里塚闘争だ。すべての学生は、10・10三里塚闘争に立とう! 法大闘争先頭に「教育の民営化」をうち破り、11・7日比谷1万人結集へ攻め上ろう!

<戦争と大失業>を打ち破る国際連帯

11・7労働者集会に集まろう!



アメリカ、韓国、
ブラジル、ドイツ
から労働者が結集!!

国鉄1047名解雇撤回! 民営化・非正規職化を許すな!

沖縄米軍基地撤去! 改憲と戦争をとめよう!

11月7日(日) 正午開会

東京・日比谷野外大音楽堂

[呼びかけ] 国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)/全日本建設運輸連帯労組・関西生コン支部/全国金属機械労働組合・港合同/国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動

チケットを正門前で販売中です